



2020年3月期 第1四半期決算説明資料



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

2019年7月19日

P3 第1四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第1四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

【不動産事業】

P8 第1四半期 損益計算書

P9 第1四半期 連結貸借対照表

P10 通期予想進捗状況

第1四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間	構成比	前第1四半期累計期間	構成比	前年同期比
売上高	2,899	100.0%	3,099	100.0%	93.5%
営業利益	137	4.7%	207	6.7%	66.0%
経常利益	111	3.8%	230	7.4%	48.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	1.7%	152	4.9%	32.1%

◆ パチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いています。また、昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退していることがうかがえます。

◆ 当社グループでは主力の広告事業において、特定業界に過度に依存しない収益の多様化を方針として掲げ、パチンコホール以外の分野の市場開拓を進めております。フィットネス業界向け広告領域における拡販や、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の取扱い等により、収益の底上げに向けた取り組みを進めております。

◆ 結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,899百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益は137百万円(同34.0%減)、経常利益は111百万円(同51.9%減)、親会社に帰属する四半期純利益は48百万円(同67.9%減)となりました。

■当第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	2,830	51	16	—	2,899
セグメント利益	239	31	▲52	▲80	137

■前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲222	16	5	—	▲200
セグメント利益	▲66	4	▲14	5	▲70

◆ パチンコホール広告事業が前年同期を下回ったことにより、連結ベースの売上高で222百万円減となりました。

◆ その他に関しては、主としてカジノ運営事業における初期投資の償却負担、カジノ施設における集客力低下の影響により、セグメント損失は前年同期比で△14百万円となりました。

第1四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当第1四半期累計期間	前第1四半期累計期間	前年同期比
売上高	2,830	3,053	92.7%
営業費用	2,591	2,748	94.3%
セグメント利益	239	305	78.4%

外部環境>

- ◆パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続。
- ◆新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況。
- ◆新規出店の減少により、大型の新規出店告知需要も減少

当社の取り組み>

- ◆自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販。
- ◆パチンコホール以外の広告分野への人的資源のシフトを開始。
- ◆異業種向けプリンティング事業の拡大、デザイン受託業務の強化、インターネット求人広告の販売強化を推進。

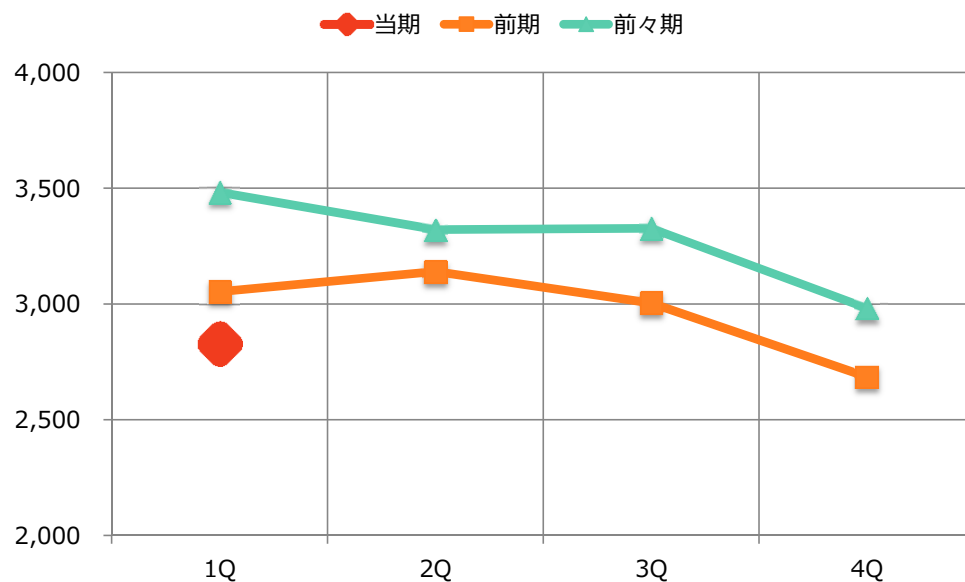
結果>

- ◆パチンコホール以外の広告分野における市場開拓には相応の時間を要するものと見込まれる一方、パチンコホール広告分野の需要減退が大きく影響したことから、売上高は2,830百万円(前年同期比7.3%減)、セグメント利益は239百万円(同21.6%減)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	2,830	—	—	—	2,830
前期	3,053	3,140	3,004	2,685	11,882
前々期	3,482	3,321	3,327	2,982	13,112



◆当1Qにおける広告事業の売上高は前年同期に比べ、222百万円減少しました。

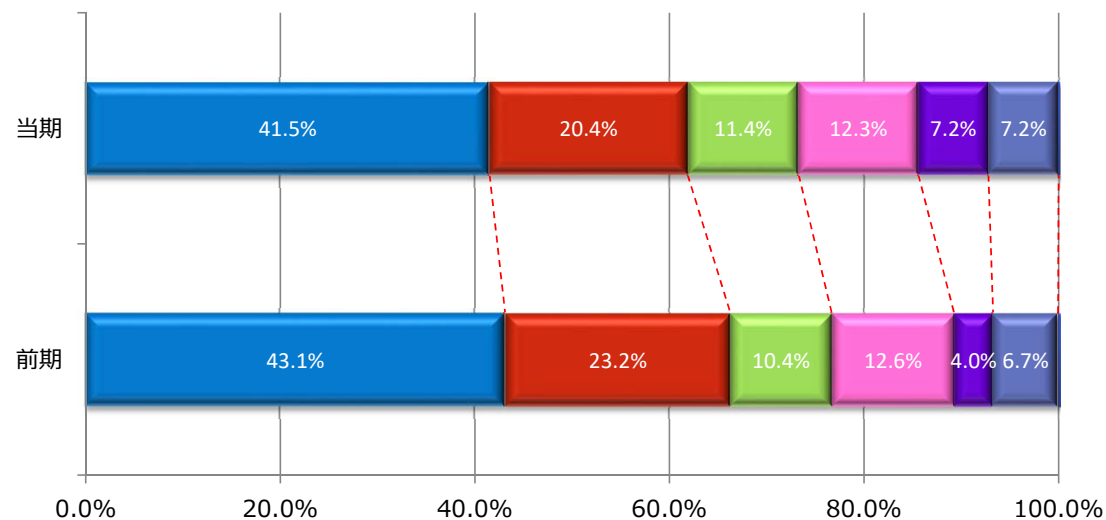
◆パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告予算削減が続いたことに加え、新台入替の頻度減少による広告需要の減少や、新規出店が例年と比較し極端に少なかったことから、大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響しました。

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当第1四半期	構成比	前年同期	構成比	前年同期比
折込広告	1,173	41.5%	1,316	43.1%	89.2%
インターネット	576	20.4%	707	23.2%	81.5%
販促物	323	11.4%	318	10.4%	101.4%
媒体	348	12.3%	384	12.6%	90.9%
クリエイティブ	204	7.2%	122	4.0%	166.8%
その他	204	7.2%	204	6.7%	100.0%
	2,830	100.0%	3,053	100.0%	92.7%

■折込広告 ■インターネット ■販促物 ■媒体 ■クリエイティブ ■その他



◆ 規制の影響により、告知需要が減少した結果、折込広告を中心とする紙媒体、インターネット広告売上高ともに前年を下回りました。

第1四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当第1四半期累計期間	前第1四半期累計期間	前年同期比
売上高	51	34	147.5%
営業費用	20	8	232.8%
セグメント利益	31	26	115.2%

◆ 2017年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、パチンコホールM&A案件や、賃貸物件仲介案件(38百万円)を成約いたしました。

◆ その結果、不動産事業の売上高は51百万円(前年同期比47.5%増)、セグメント利益は31百万円(同15.2%増)となりました。

第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (A)	当期末 (B)	差額 (B) - (A)
現金及び預金	4,405	4,096	▲309
受取手形・売掛金	1,410	1,412	1
その他流動資産	193	317	123
有形固定資産	985	948	▲36
無形固定資産	100	92	▲7
投資その他資産	998	810	▲187
資産合計	8,093	7,676	▲416
支払手形・買掛金	757	716	▲41
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	420	400	▲20
未払法人税等	166	18	▲147
その他流動負債	287	331	44
長期借入金	800	700	▲100
その他固定負債	33	33	—
負債合計	2,464	2,200	▲264
株主資本	5,574	5,427	▲146
その他	54	49	▲5
純資産合計	5,628	5,476	▲152
負債・純資産合計	8,093	7,676	▲416

①納税・利益配当等による現金及び預金の減少

②取引高の減少による仕入債務の減少

③借入金の返済による減少

③借入金の返済による減少

④四半期純利益＋48百万円、配当△195百万円

通期予想進捗状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期実績	2020年3月期 通期予想	進捗率
売上高	2,899	9,800	29.6%
営業利益	137	480	28.6%
経常利益	111	480	23.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	48	310	15.8%

- ◆ 当第1四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正していません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334